



主な記事

- ① 先進地視察を実施しました。
- ② ロープを使って木に登ろう！実施！
- ③ 体験プログラムのご案内
- ④ 地域のページ

足利・名草ふるさと自然塾 先進地視察を実施しました

足利・名草ふるさと自然塾の事業として行なう都市農村交流の参考にするために、先進地の視察を行いました。行程については次のとおりです。

▽日程 五月十七日～十八日
▽視察地
校舎の宿「さんさん館」

(宮城県本吉郡南三陸町)
株式会社 福舞里 (ふぶり)

(福島県本宮市)
アサヒビール福島工場

▽参加者 足利名草ふるさと自然塾運営協議会会員

最初に訪れた校舎の宿「さんさん館」は、平成十一年に廃校となった小学校を活用したもので、百二十七年の歴史を持つ学校をそのまま活用した施設です。すでに解体が決定していた同小学校を、地元の卒業生らがなんとか残し、有効に活用していきたいと考え、宿泊や、農山漁村体験などができるグリ

ーンツーリズムの拠点施設として生まれ変わりました。

宿泊施設としては和室、シングル、ツイン、トリプルなどの部屋があり、ユニットバスが備え付けられたビジネスホテルのような様子でした。体験では、地域の方が講師となつて、農業体験、林業体験、漁業体験など様々なプログラムを実施しています。どのプログラムも地域の日常の生活を体験するもので、地元の高齢者は「先生」と呼ばれることで生きがいを感じておられるようでした。



元校舎を活かした施設

二日目に訪れた株式会社福舞里は、全国第一号の地域再生計画の認定を受けた「花実の里・福舞里プラン」を実施する法人です。プランでは、耕作放棄地・遊休農地の解消、農地を積極的に活用した新しい農業の育成、新しい農業を中心とする地域産業の創出、産業の発展による地域雇用の拡大、地域資源・環境を活かした循環型社会形成への寄与、をテーマに掲げ、これをもとに基本計画を策定し、事業を実施しています。地域的な特徴としては、遊休農地が多く、特に養蚕農家が減つて桑畑が残つてしまっているのが現状です。その中で、都市農村交流を進めています。二年前に東京都杉並区の商店街に野菜を持ち込み販売し始め、その後板橋区や世田谷、国分寺でもイベント販売を行なっています。また、日本大学経済学部の学生を受け入れ、田植え体験を通して交流を図っています。土

日に田植えを行い、十一月の学園祭で米、もち、おにぎりなどの販売を行なうといった活動を行なっています。さらに今年には田舎で働き隊！という事業を活用し、相模女子大学の学生を十六名、二週間受け入れました。これらの活動によって、農業従事者が高齢化して若者がいない地域に、活力を取り戻したいという狙いがあります。

最後に、高速道路のインターチェンジ近くにある工場を見学しました。今後の自然塾の事業実施の参考とし、さらなる発展につながるよう、今回の視察を活かしていきたいと考えております。



参加された皆様お疲れ様でした

足利・名草ふるさと自然塾体験プログラム ロープを使って 木に登ろう！実施

五月二十四日(日)、名草里山の会の炭焼き窯付近の広場にて、「ロープを使って木に登ろう！」ツリークライミング体験を実施しました。

このプログラムの、里山林の整備をきっかけに実施し、今回は、午前九時半、午前十一時、午後一時半の三回に分けて、体験を行いました。



木登り前の準備体操

専用の安全具を装着し、準備運動をしていよいよ木登り体験スタートです。



さあ木登り開始

ツリークライミングは競争ではありません。それぞれが、自分の力でロープをたぐり、目標に近づいていくものです。すぐに慣れてどんどん登っていく子もいれば、ゆっくり少しずつでも確実に上へと進む子もいます。



こんなに高いところまで登りました

今回の体験プログラムでは、ツリークライミング®ジャパンから三名のインストラクターを講師に、登る木の剪定や、ロープの準備、当日の指導を実施しました。この体験の意義については、ツリークライミング®ジャパンのホームページに次のように説明されています。

『ツリークライミングの主役はあなただけではありません。木や森、あらゆる自然環境のすべてが主役です。ツリークライミングを体験させてもらう木に「今日是一緒に遊んでくださいね」という気持ちで森に入りま

す。ツリークライミングをして木と友達になり、樹上から降りて来た時には、心の中にしぜんを大切に作る「心」が育っていくのです』

当日はあいにくの曇り空でしたが、体験を終えた子どもたちの表情は晴れやかで、皆笑顔をみせてくれました。この体験を通じて、木や森の大切さ、自然のすばらしさを知り、これを守っていくという心が育っていくことを期待したいと思えます。



登った木の前で記念撮影

自然塾体験プログラムのご案内

大豆の力を学ぼう！ 大豆の栽培と加工体験

名草の美しい自然の中で、大豆を栽培し、自分の手で豆腐や味噌を作ってみませんか？日本の食文化になくてはならない、大豆について学ぶ体験プログラムです。

日程

◆七月五日(日)

種まきと豆腐作り。畑に大豆をまき、セミナーハウスにて豆腐を手作りします。

◆十月二十五日(日)

収穫。当日は収穫祭も実施し、豚汁やバーベキューが楽しめます。

◆一月三十一日(日)

味噌作り。収穫し、乾燥させた大豆を使って、味噌を仕込みます。

※収穫は作物の生育状況によって変更になる場合があります。

集合時間

午前九時三十分

集合場所

名草セミナーハウス(名草中町一六八)

対象

小学生以上の子どもと保護者 十二組

参加料

一組 五〇〇〇円 一組あたり約四キロの味噌を作ります。

申込・問合せ

足利・名草ふるさと自然塾運営協議会

(事務局 足利市 農務課)

TEL〇二八四―二〇―二一六一

※定員になり次第募集を締め切らせていただきます。

クワガタを育ててみよう！

クワガタを飼育し、専門家の指導のもと、産卵させる体験プログラムです。参加者はつがいのクワガタをお渡しします。

◆七月十二日(日)

成虫の飼い方
成虫をお渡しし、飼育方法、産卵後の扱い方を学びます。

◆九月十三日(日)

幼虫の飼い方
ケースを開けて幼虫を観察し、飼育方法を学びます。

足利・名草ふるさと自然塾運営協議会が「教育ファーム」モデル実証地区になりました！



教育ファームとは、農(林漁)家が指導する一回かぎりのイベントではない「本物の農林漁業体験」のことです。自然を相手に食べものを生産し、採集する農林漁業。この営みについて、作り、獲るところから食べるところまで一連の流れとして体験することで、自然の力やそれを活かす工夫を学び、また生産・採集の苦労や喜び、食べもの大切さを知る取組みです。

その中で、農林水産省が実施する平成二十一年度における食育推進事業「教育ファーム推進事業」のモデル実証地区として運営協議会が協力団体として決定しました。事業では「田んぼの学校！」稲作体験プログラム、「大豆の力を学ぼう！」大豆の栽培と加工体験、「そばをみんなで作ろう！」そばの栽培と加工体験が対象となります。

集合時間

午前九時三十分

集合場所

名草セミナーハウス(名草中町一六八)

対象

小中学生の親子 十組

参加料

一組 二〇〇〇円

(資材費を含みます。)

申込・問合せ

足利・名草ふるさと自然塾運営協議会(事務局 足利市 農務課)

TEL〇二八四―二〇―二一六一

自然塾サポーター女性クラブ 『サルビアの会』 が発足しました。

足利・名草ふるさと自然塾では、田んぼの学校！をはじめとして様々な体験プログラムを実施しております。その中において、参加される方々に、食事の提供をする機会があります。そこで、地域の方々から有志を募り、自然塾のサポーター女性クラブを設立し、自然塾の活動の応援や、女性ならではの発案による様々な取り組みを行う組織を設立することとなりました。

五月二十五日(月)、名草セミナーハウス研修室にて、設立のための会議を開催しました。当日は十六名出席され、青木会長からは「自然塾独自の女性組織をつくって、活動をサポートしてもらいたいと考えた。皆さんには自由な発想で楽しみながら活動していただきたい」との挨拶がありました。

会議では、クラブの名前を「サルビアの会」と決定し、また、自然塾のスケジュールを確認しながら今後の活動計画等について話し合いが行なわれました。女性の視点で自然塾をサポートするサルビアの会の、今後の活動が注目されます。

サルビア植えの お手伝いをお願いします

期日 六月二十八日(日)
時間 午前九時～(少雨決行です)
場所 名草川 江保地河川自然公園
◆どなたでも参加お待ちしております



江保地河川自然公園のサルビア

名草里山の会の 総会が開催されました

五月二十三日(土)、名草上町江保地集会所において、平成二十一年度特定非営利活動法人名草里山の会の定期総会が開催されました。

平成二十一年度の事業計画、予算が承認されました。

今年度も様々な事業が計画され、終了後は懇親会が行われ、名草を思う同志たちが熱く語り合っていました。

足利・名草ふるさと通信では、自然塾の情報、名草地区の情報を発信していきます。身近な情報をお寄せください。

【連絡先】足利・名草ふるさと自然塾運営協議会 (事務局 足利市産業振興部農務課)

電話 0284-20-2161 FAX 0284-21-0643

E-mail info@ashikaga-nagusa.com URL <http://www.ashikaga-nagusa.com>